

clarion

取扱説明書

CX211

CX211BK

**2DIN CD/USB/MP3/WMA
レシーバー**

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	4
ご使用前に	5
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
取扱上のご注意	8
ご確認事項	8
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
CDの再生について	9
CDについて	9

本機の操作

■各部の名称とはたらき

本体部	10
モード別ディスプレイ表示	12
(別販) リモコン (RCB176) の使いかた	14

■基本の操作

電源を入れる	16
ソースを選ぶ	16
音量を調節する	16
表示を切り換える	17
設定項目の選びかた (サウンド設定)	18
音質を簡単に設定する (Beat EQ 機能)	18
音質 (バス/ミッド/トレブル) を調整する (カスタム設定)	19
BEAT EQ 機能を調整する	20
重低音を増強する (マグナベース EX 機能)	20
左右のスピーカー音量を調整する	20
前後のスピーカー音量を調整する	20
サブウーファースローパスフィルターの調整する	20
サブウーファー出力ボリュームを調整する	21
フェーズを調整する	21
ハイパスフィルターを調整する	21

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	22
受信バンドを切り換える	22
自動選局する (シーク選局)	22
手動選局する (マニュアル選局)	22
プリセット選局する	23
プリセットメモリーする	23
自動メモリーする (オートストア機能)	23
放送を確かめる (プリセットスキャン)	24
特定の放送局をすぐに選局する (ISR 機能)	24

■CD/MP3/WMA を聴く

MP3/WMA について	25
ディスクを入れる	26
ディスクを取り出す	26
すでに入っているディスクを聴く	27
再生を止める (一時停止)	27

曲を選ぶ	27
早送り / 早戻しする	27
フォルダを切り換える (フォルダ選択モード)	28
いろいろな再生 (スキャン / リピート / ランダム演奏)	28

■設定を変更する (アジャストモード)

設定項目の選びかた	30
時刻を合わせる (CLOCK)	31
ディスプレイのコントラストを調整する (CONTRAST)	31
パネル照明色を設定する (COLOR)	31
スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)	32
タイトルスクロールを設定する (SCROLL)	32
ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)	33
盗難防止インジケータを設定する (BLINKLED)	33
リア / サブウーファーを設定する (REAR/S-W)	33
携帯電話音声の割り込みを設定する (INT-SW)	33
メモリーをリセットする (RESET)	33

外部機器の操作

■USB 機器のオーディオファイルを聴く

USB 機器について	34
USB 機器を接続する	35
USB 機器のオーディオファイルを聴く	35
再生を終了するには	35

■iPod を操作する

iPod を接続する	36
iPod を選ぶ	36
シンプルコントロールモードを選ぶ (S-CTRL)	37
いろいろな再生 (プレイモード時)	37
iPod メニューからカテゴリーを選ぶ	38
アルファベット検索する (ABC サーチ機能)	39
プリセットメモリーでカテゴリーを選ぶ	40
iPod メニューリストに戻る	40
タイトル表示について	40

■ポータブルオーディオ / 携帯電話音声聴く (AUX)

AUX を選ぶ	41
AUX 入力の接続のしかた	41
ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)	41

その他

故障かな?と思ったら	42
エラー表示について	44
仕様	45
アフターサービスについて	47



MP3/WMA

USB

■USB スロット搭載

- さまざまな周辺機器が接続可能な USB スロットを装備しております。

■iPod®/iPhone® USB 接続対応

- iPod を USB 接続することで iPod を直接コントロールできます。

※ iPod を本機と接続する場合、iPod に付属されている iPod ケーブルをご使用ください。

- 本書で表記している「iPod」とは、本機に接続可能な iPod および iPhone を指します。

- 本機でコントロール可能な iPod 機器に関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

※ "Made for iPod," and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone and iPod are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

■MP3/WMA ファイル再生機能

- CD-R/RW やマストレージクラスの USB 機器に記録した MP3/WMA フォーマットのファイルの再生が可能です。
- ISO9660 レベル 1,2、Joliet、Romeo、Apple ISO に対応します。

■外部入力機能 (AUX 入力)

- ポータブルオーディオなどが接続できる便利な前面 AUX 入力端子を装備しております。
- Bluetooth® トランシーバー (BLT370) との組み合わせにより、携帯電話のハンズフリー通話やオーディオストリーミングが可能です。

※ Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン (株) は許可を受けて使用しています。

■50W × 4ch ハイパワーアンプ内蔵

■Beat EQ 機能

■4ch RCA 音声出力端子

■別販のリモートコントローラー対応

絵表示について

この『取扱説明書』の表示では、製品を安全に正しくご使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中には具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用前に『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

■使用上のご注意

⚠ 警告

- 運転者は走行中に操作をしない…** 
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…** 
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…** 
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物を入れない…** 
火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…** 
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…** 
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている『取付説明書』をご覧ください。

⚠ 注意

- **運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…** 

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- **ディスク挿入口に手や指を入れない…** 

けがの原因となることがあります。
- **本機を車載用以外には使用しない…** 

感電やけがの原因となることがあります。
- **電源を切るときは、音量を最小にする…** 

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- **音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない…** 

火災の原因となることがあります。
- **本機の取付場所変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…** 

専門技術と経験が必要です。

取扱上のご注意

ご確認事項

-   マークのついた CD をご使用ください。
- また、シースルーディスク（半透明 CD）、ハート形や八角形など、特殊形状の CD はご使用しないでください。取り出せなくなる場合があります。
- CD-R/RW で記録されたディスクでもご使用できない場合があります。
- CD-ROM は、本機ではご使用できません。
- 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CD や光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CD が曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1 時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。
- 本機は USB1.1/2.0 互換で、MP3/WMA フォーマットのファイルが再生できます。
- 本機の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「**USB マスストレージクラス**」として認識されることが条件となりますが、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。
- 使用する USB 機器が「**USB マスストレージクラス**」に準拠しているかは、販売メーカーにお問い合わせください。

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に付けて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



- 樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。
- 自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部（アクリル部品）の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」の項目（44 ページ）を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CD の再生について

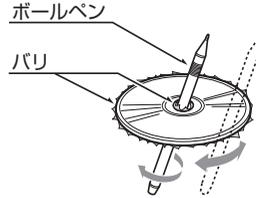
- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CD を再生中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- CD をイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

CD について

■取上のご注意

- CD-R、CD-RW は、通常の音楽 CD に比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 各種コピーコントロール CD は、CD 規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としては CD 再生機器における再生保証は致しかねます。万一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CD の発売元にお問い合わせください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れなどを付けないように扱ってください。
- レーベル面（印刷面）や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕がある CD は使用しないでください。そのまま CD プレーヤーに入れると、CD が取り出せなくなったり、故障の原因となります。

- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■CD の保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

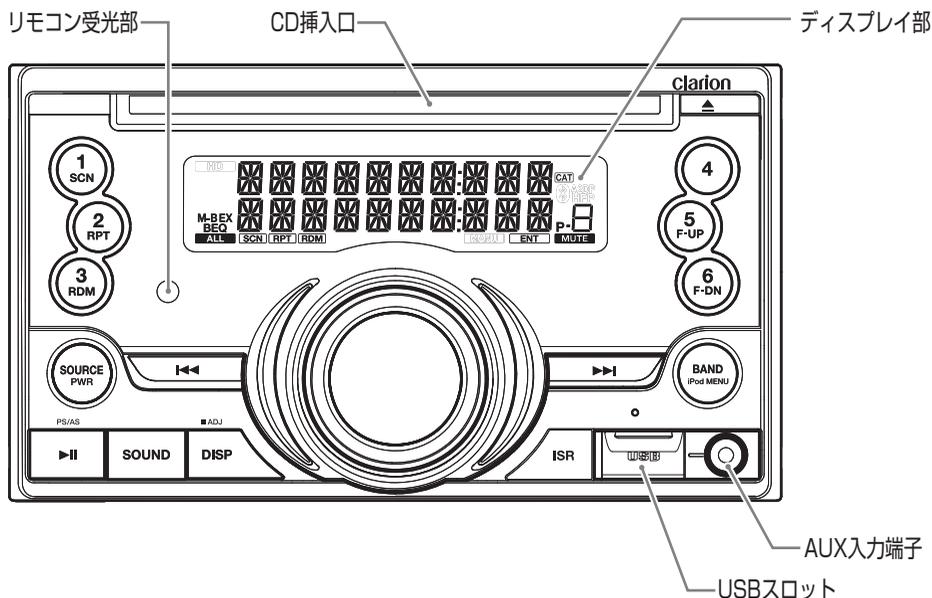
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■CD のお手入れ

- CD が汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- レコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部



[SOURCE] ソースボタン

- ・電源を入れ、各モードに切り換えます。
- ・電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)



[BAND] バンドボタン

- ・ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続け(約1秒間)て、自動選局か手動選局に切り換えます。



[ROTARY] ロータリーノブ

- ・音量を調節します。
- ・アジャストモード時の各種設定に使用します。
- ・各種設定の決定をします。



[F-UP],[F-DN] サーチボタン

- ・ラジオモード時の選局に使います。
- ・ディスク、USB機器、iPod使用時は選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。



[F-UP],[F-DN] アップダウンボタン

- ・MP3/WMAディスク再生時に、フォルダを切り換えます。



[▲] イジェクトボタン

- ・CDが入っているときに押すと、CDがイジェクトされます。



[▶||] プレイ/ポーズボタン

- ・ラジオモード時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- ・ディスク、USB機器、iPod使用時は、再生を一時停止します。



[DISP] ディスプレイボタン

- ・ディスプレイ表示を切り換えます。
- ・押し続け（約1秒間）で、調整モードになります。（アジャストモード）



[SOUND] サウンドボタン

- ・オーディオの各種調整をします。（サウンドモード）



[ISR] ISRボタン

- ・現在のモードにかかわらず、よく聴くラジオ局をすぐに呼び出します。（ISR機能）
- ・押し続け（約2秒間）で、ISRにメモリーします。



[DIRECT] ダイレクトボタン

- ・ラジオモード時に、登録した放送局を呼び出します。押し続け（約2秒間）で、ダイレクトボタンに放送局をメモリーします。



[SCN] スキャンボタン

- ・CD/MP3/WMAモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏をします。
- ・MP3/WMAディスク再生時に押し続け（約1秒間）で、オールスキャン演奏をします。



[RPT] リピートボタン

- ・CD/MP3/WMAモード時に、繰り返し再生をします。
- ・MP3/WMAディスク再生時に押し続け（約1秒間）で、オールリピート演奏をします。

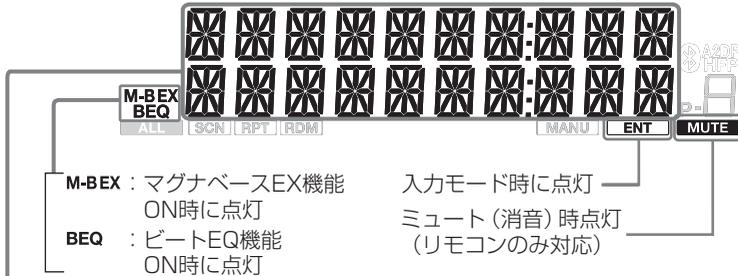


[RDM] ランダムボタン

- ・CD/MP3/WMAモード時に、ランダム演奏をします。
- ・MP3/WMAディスク再生時に押し続け（約1秒間）で、オールランダム演奏をします。

モード別ディスプレイ表示

■各モード共通の表示

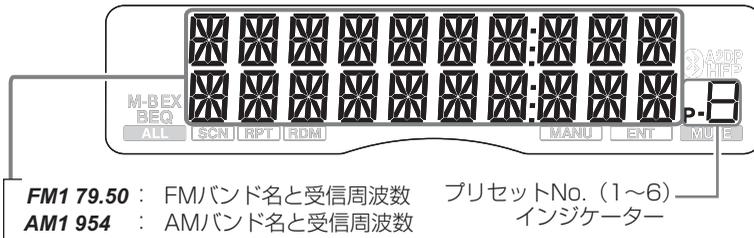


タイトル表示部

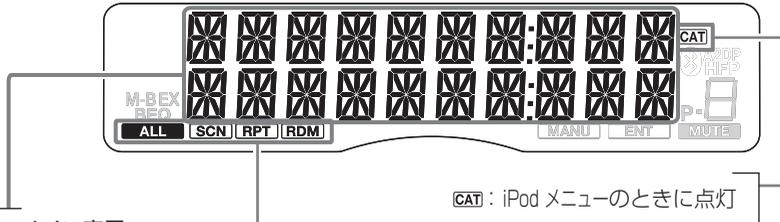
- ・モード表示（モード切換時に約2秒間表示します。）
- ・タイトル表示
受信中の周波数やMP3/WMAディスクのタイトルなどを表示します。
詳しくは、各モードの表示をご覧ください。
- ・スクリーンセーバー
スクリーンセーバーを表示します。
詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(32ページ)をご覧ください。

TUNER : ラジオモード
CD/MP3 : CD/MP3/WMAモード
USB : USB/iPodモード
AUX : AUXモード

■ラジオモード時の表示



■CD/MP3モード、USBモード時の表示



• メイン表示

(音楽CD再生時)

トラック番号/再生時間表示 (分、秒)

(MP3/WMAディスク再生時)

トラック番号/再生時間表示 (分、秒)

フォルダ番号/再生時間表示 (分、秒)

• タイトル表示

(音楽CD再生時)

トラックタイトル/ディスクタイトル・アーティストタイトル

(MP3/WMAディスク再生時)

トラックタイトル/フォルダタイトル/タイトルTAG・アルバムTAG/アーティストTAG

• 選曲切換時に表示(約2秒間)

(音楽CD再生時)

SCN : スキャン演奏選択時**SCN OFF** : スキャン演奏キャンセル時**RPT** : リピート演奏選択時**RPT OFF** : リピート演奏キャンセル時**RDM** : ランダム演奏選択時**RDM OFF** : ランダム演奏キャンセル時

(MP3/WMAディスク再生時)

SCN : スキャン演奏選択時**SCN OFF** : スキャン演奏キャンセル時**RPT** : リピート演奏選択時**RPT OFF** : リピート演奏キャンセル時**RDM** : ランダム演奏選択時**RDM OFF** : ランダム演奏キャンセル時**ALL SCN** : オールスキャン演奏選択時**SCN OFF** : オールスキャン演奏キャンセル時**ALL RPT** : オールリピート演奏選択時**RPT OFF** : オールリピート演奏キャンセル時**ALL RDM** : オールランダム演奏選択時**RDM OFF** : オールランダム演奏キャンセル時

(USB/iPod再生時)

SCN : スキャン演奏選択時 (iPodモード対応なし)**SCN OFF** : スキャン演奏キャンセル時**RPT** : リピート演奏選択時**RPT OFF** : リピート演奏キャンセル時**RDM** : ランダム演奏選択時**RDM OFF** : ランダム演奏キャンセル時**ALL SCN** : オールスキャン演奏選択時 (iPodモード対応なし)**SCN OFF** : スキャン演奏キャンセル時**ALL RPT** : オールリピート演奏選択時 (iPodモード対応なし)**RPT OFF** : オールリピート演奏キャンセル時**ALL RDM** : オールランダム演奏選択時**RDM OFF** : オールランダム演奏キャンセル時

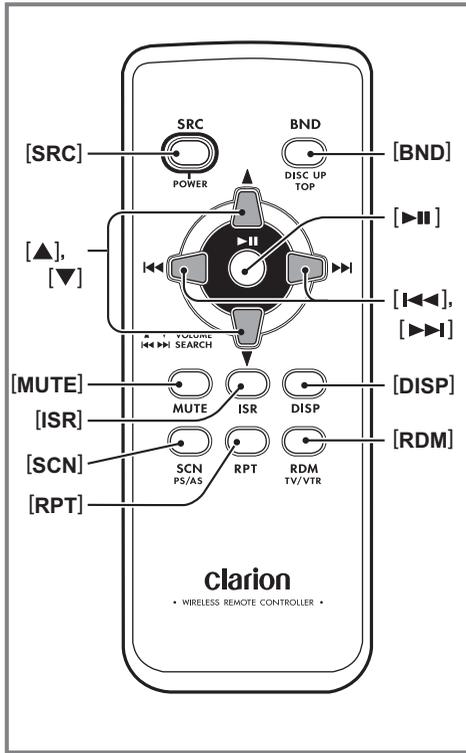
• その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき**ERROR 2** : エラー発生時**FILE READ** : ファイルシステム読み込み中**PAUSE** : 再生一時停止時

CAT: iPodメニューのときに点灯

ALL : オールスキャン/オールリピート
/オールランダム演奏のときに点灯**SCN** : スキャン演奏のときに点灯**RPT** : リピート演奏のときに点灯**RDM** : ランダム演奏のときに点灯

(別販) リモコン (RCB176) の使いかた



ソースを選ぶ

[SRC] ボタン

- 電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。
- 約1秒間押し続けると、電源が切れます。

音量を調節する

[▲], [▼] ボタン

音を消す

[MUTE] ボタン

- ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼び出す

[ISR] ボタン

- モードにかかわらず、登録されているラジオ局を呼び出します。
- ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオで**[ISR]**ボタンを約2秒間押し続けます。
- 元のモードに戻すには、もう一度**[ISR]**ボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする

[SCN] ボタン

- スキャン演奏します。(CD/MP3/WMA/USB時)
- 押し続ける(約1秒間)と、オールスキャン演奏します。(CD/MP3/WMA/USB時)
- ラジオ時には、プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン)
また、約2秒間押し続けると放送局を自動的にメモリーします。(オートストア機能)
- 解除するときには、もう一度**[SCN]**ボタンを押します。

繰り返し再生する

[RPT] ボタン

- リピート演奏します。(CD/MP3/WMA/USB/iPod時)
- 押し続ける(約1秒間)と、オールリピート演奏します。(CD/MP3/WMA/USB時)
- 解除するときには、もう一度**[RPT]**ボタンを押します。

バンドを切り換える

[BND] ボタン

- ラジオ時は受信バンドを切り換えます。

再生を一時停止する

[▶||] ボタン

- 再生を一時停止します。(CD/MP3/WMA/USB/iPod時)

選曲する/選局する

[◀], [▶] ボタン

- 押した回数だけ先の曲、または前の曲を再生します。
約1秒間押し続けると、早送り/早戻しをします。
(CD/MP3/WMA/USB/iPod時)
- プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。
(ラジオ時)

表示を切り換える

[DISP] ボタン

- 次のように表示を切り換えます。
タイトル表示 ↔ 時計表示

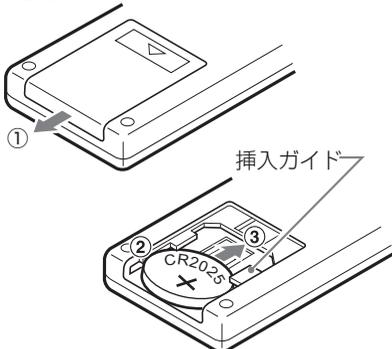
ランダム演奏する

[RDM] ボタン

- ランダム演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB/iPod時)
- 押し続ける(約1秒間)と、オールランダム演奏します。
(CD/MP3/WMA/USB/iPod時)
- 解除するときには、もう一度[RDM]ボタンを押します。

■電池の入れかた

- ① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出します。
- ② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットします。
- ③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入します。
- ④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込みます。

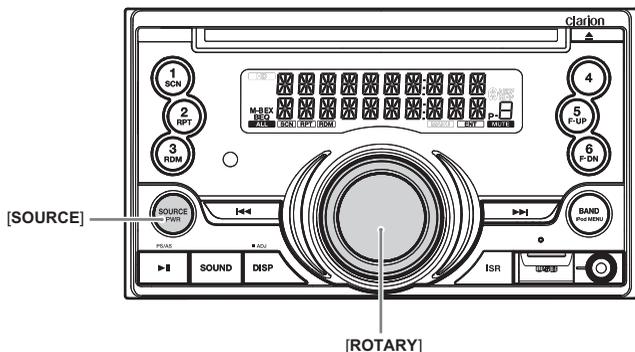


⚠ 警告

- ・リモコンを放置しないでください。
停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- ・事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

⚠ 注意

- 使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、けがや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
- ・指定電池以外は使用しない。
 - ・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
 - ・電池を加熱したり、火や水の中に入れてはならない。
 - ・また、分解しない。
 - ・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
 - ・リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



電源を入れる

1 [SOURCE] ボタンを押す

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、エンジンをかけた状態で行ってください。

■ 電源を切るときは…

[SOURCE] ボタンを押し続けてください。(約 1 秒間)

ソースを選ぶ

1 [SOURCE] ボタンを押す

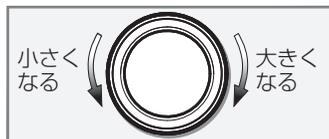
→ 押すたびに、次のように切り換わります。



※「iPod」は、対応機器が USB スロットに接続されたときに表示します。

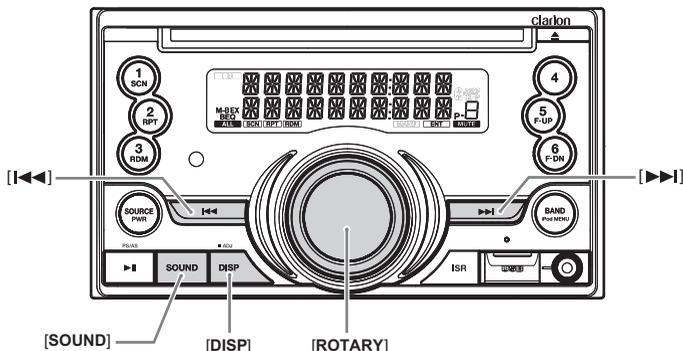
音量を調節する

1 [ROTARY] ノブを回す



⚠ 注意

- 運転中は、車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

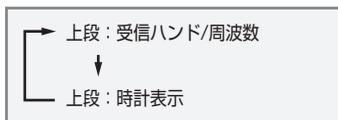


表示を切り換える

1 [DISP] ボタンを押して表示を選ぶ

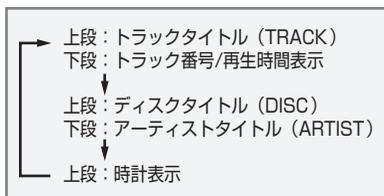
→ 押すたびに、次のように切り換わります。

● ラジオモード



詳しくは、「モード別ディスプレイ表示」(12 ページ) をご覧ください。

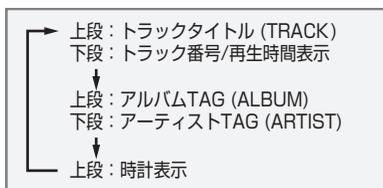
● 音楽 CD 再生時



● MP3/WMA ディスク、USB 機器再生時



● iPod 再生時



■ スクリーンセーバー機能について…

スクリーンセーバーの初期設定は「OFF」です。設定については「スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)」(32 ページ) をご覧ください。

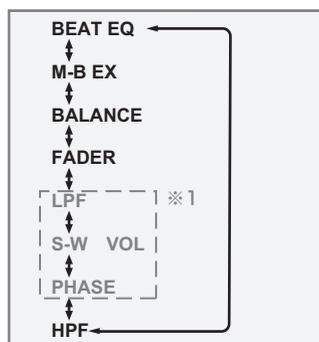
設定項目の選びかた (サウンド設定)

1 [SOUND] ボタンを押す

2 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り換わります。

- ディスプレー部の「ENT」が点滅のときは、[ROTARY] ノブを押して調整内容を表示します。



※1 設定を変更する(アジャストモード)のREAR/S-Wが「S-WOOFER」に設定されている場合に、「LPF」「S-W VOL」「PHASE」は表示されます。

ご注意

- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

3 [SOUND] ボタンを押して、元のモードに戻る

音質を簡単に設定する (Beat EQ 機能)

本機は、3つのイコライジングパターンをメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **B-BOOST**：低音を強調
 - **IMPACT**：低音と高音を強調
 - **EXCITE**：低音と高音をさらに強調
- ※初期設定は、「OFF」です。

■ Beat EQ について…

原音のままお聴きになりたいときは、Beat EQ を「OFF」にしてご使用ください。

■ 音質をきめ細かく設定したいときは…

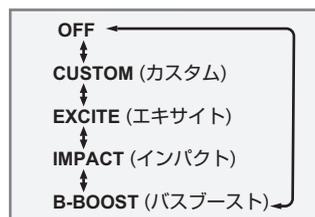
この機能をCUSTOM (カスタム) に設定し、「音質 (バス/ミッド/トレブル) を調整する (カスタム設定)」(19 ページ) の手順で、お好みの音質に調整してください。

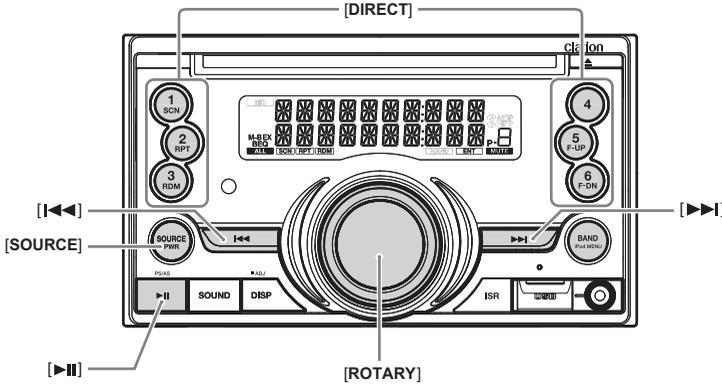
ご注意

- 10秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「BEAT EQ」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、お好みの音質を選ぶ





音質（バス/ミッド/トレブル）を調整する（カスタム設定）

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

- この機能は、Beat EQ 機能が **CUSTOM**（カスタム）のときに設定できます。
- 10 秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

- 1 「CUSTOM」（カスタム）を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを押す
- 3 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、調整項目を選ぶ

- 「BASS<G>」（ゲイン）
- 「BASS<F>」（周波数）
- 「BASS<Q>」（Q カーブ）
- 「MID<G>」（ゲイン）
- 「MID<F>」（周波数）
- 「MID<Q>」（Q カーブ）
- 「TREBLE<G>」（ゲイン）
- 「TREBLE<F>」（周波数）
- 「TREBLE<Q>」（Q カーブ）

4 [ROTARY] ノブを回して、調整する

- 「BASS<G>」（ゲイン）の調整範囲は、 $-7 \sim +7$ です。
- 「BASS<F>」 周波数（F）
：50Hz、100Hz、200Hz
- 「BASS<Q>」 Q カーブ（Q）
：0.7、1、1.4、2
- 「MID<G>」（ゲイン）の調整範囲は、 $-7 \sim +7$ です。
- 「MID<F>」 周波数（F）
：500Hz、1kHz、2kHz
- 「MID<Q>」 Q カーブ（Q）
：0.7、1、1.4、2
- 「TREBLE<G>」（ゲイン）の調整範囲は、 $-7 \sim +7$ です。
- 「TREBLE<F>」 周波数（F）
：5kHz、10kHz、15kHz
- 「TREBLE<Q>」 Q カーブ（Q）
：0.7、1、1.4、2

5 [ROTARY] ノブを回し、調整項目に戻る

BEAT EQ 機能を調整する

ご注意

- Beat EQ 機能が B-BOOST (バスブースト)、IMPACT (インパクト) または EXCITE (エキサイト) のときに調整できません。
- 10 秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元の再生状態に戻ります。

- 1 Beat EQ 調整項目 (EXCITE/IMPACT/B-BOOST) を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを押す
- 3 [ROTARY] ノブを回して、調整する
 - 調整範囲は、-3 ~ +3 です。
- 4 [ROTARY] ノブを押して、調整項目に戻る

重低音を増強する (マグナベース EX 機能)

※初期設定は、「OFF」です。

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で「M-B EX」を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して、「ON」「OFF」を選ぶ
 - マグナベース EX (MAGNA BASS EX) が ON になり、ディスプレイ部に「M-B EX」を点灯して、重低音が増強されます。
- 3 [SOUND] ボタンを押して、元のモードに戻る

左右のスピーカー音量を調整する

※初期設定は、「CENTER」です。

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で「BALANCE」を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して、左右のスピーカー (バランス) の音量を調整する
 - 調整範囲は、RIGHT 12 ~ LEFT 12 です。

前後のスピーカー音量を調整する

※初期設定は、「CENTER」です。

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で「FADER」を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを押して、前後のスピーカー (フェダー) の音量を調整する
 - 調整範囲は、FRONT 12 ~ REAR 12 です。

サブウーファアのローパス フィルターの調整する

※初期設定は、「TUROUGH」です。

- 1 『設定項目の選びかた』の手順で「LPF」を選ぶ
- 2 [ROTARY] ノブを回して、「THROUGH」「60」「90」「120」を選ぶ

サブウーファー出力ボリュームを調整する

※初期設定は、「0」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「S-W VOL」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、調整する

・調整範囲は、-6～+6です。

フェーズを調整する

※初期設定は、「NORMAL」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「PHASE」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、「NORMAL」「REVERSE」を選ぶ

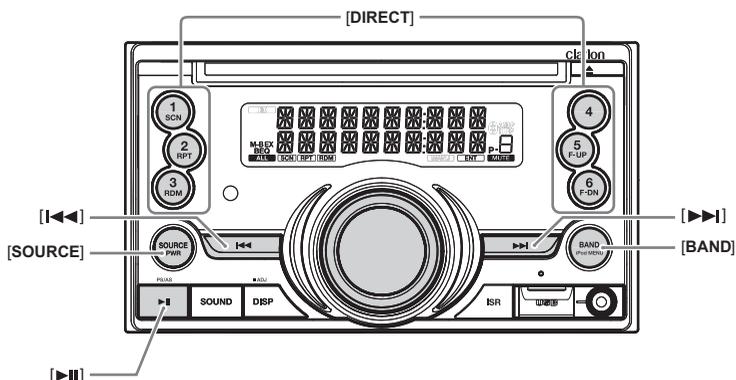
ハイパスフィルターを調整する

※初期設定は、「THROUGH」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「HPF」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、「THROUGH」「60」「90」「120」を選ぶ

ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

- 1 [SOURCE] ボタンを押してラジオモードを選ぶ

→ 押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ → CD/MP3/WMA → USB/iPod → AUX

受信バンドを切り換える

- 1 [BAND] ボタンを押す

→ 押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

自動選局する (シーク選局)

- 1 [◀▶], [▶▶] サーチボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→ 放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する (マニュアル選局)

- 1 [◀▶], [▶▶] サーチボタンを押して、放送のあるところに合わせる

プリセット選局する

プリセット選局について…

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

- 1 **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに受信周波数とプリセット No. を表示します。

ご注意

- **[DIRECT]** ボタンを押し続ける (約 2 秒間) とプリセットメモリーとなり、受信中の放送局がメモリーされてしまいます。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて…

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2 各 6 局、合計で 24 局です。

- 1 **[BAND]** ボタンを押して、登録したい FM または AM を受信する

- 2 **[I◀◀]**、**[▶▶I]** サーチボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

- 3 メモリーさせたい **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンを押し続ける (約 2 秒間)

→押した **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンに登録されます。

自動メモリーする (オートストア機能)

オートストア機能について…

受信感度の良い放送局を自動的にプリセットメモリーへ登録をします。

- 1 **[BAND]** ボタンを押して、登録したい FM または AM を受信する

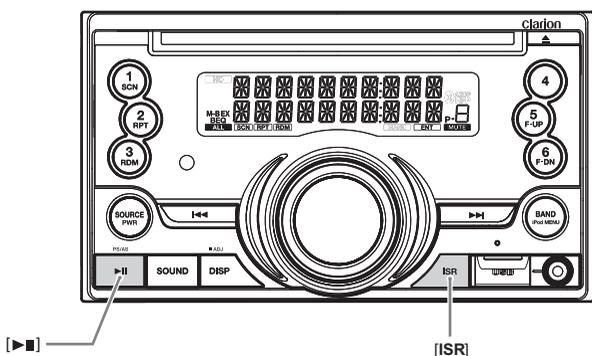
- 2 **[▶II]** プレイ / ポーズボタンを押し続ける (約 2 秒間)

→タイトル表示部に自動メモリー動作中のプリセット No. を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局が **[DIRECT]** (1 ~ 6) ボタンに登録されていきます。
- 自動メモリーは、FM 受信時は FM2 へ、AM 受信時は AM2 へ登録されます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が 6 局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを 2 回繰り返しても 6 局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。



放送を確かめる (プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて…

プリセットスキャンは、ダイレクトボタンにメモリーされている放送局を順に受信します。

1 [▶||] プレイ / ポーズボタンを押す

→プリセットスキャン動作中のプリセット No. を表示します。

- メモリーしている放送局を、順に約 7 秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- [▶||] プレイ / ポーズボタンを押し続ける (約 2 秒間) と、オートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[▶||] プレイ / ポーズボタンを押してください。

→ボタンを押したときに受信していた放送局になります。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR 機能)

ISR (Instant Station Recall) 機能について…

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHz の交通情報がメモリーされています。

1 [ISR] ボタンを押す

→ディスプレイに「ISR 1620」を表示します。

■ 元のモードに戻すには…

もう一度、[ISR] ボタンまたは [SOURCE] ボタンを押してください。

■ ISR にメモリーするには…

ラジオモードで、メモリーしたい放送局を選局し、[ISR] ボタンを押し続けて (約 2 秒間) ください。

→ISR にメモリーされます。

MP3/WMA について

●MP3 とは

MPEG 規格のオーディオ・レイヤー 3(MPEG audio layer3) に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約 1/10 のデータ量にまで圧縮でき、さらに高音質なのが特長です。1 枚の CD-R/RW ディスクに、CD 約 10 枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

●WMA とは

・「Windows Media Audio」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。

●DRM(著作権保護)の解除方法について

WMA の DRM(著作権保護)が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。以下の方法で解除してファイルを作成してください。

・ Windows Media Player 10/11 ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」のタブで、「取り込みの設定」の中の「**取り込んだ音楽を保護する**」のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成した WMA ファイルにおいては、個人の責任において実施してください。

●ファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート、ビットレートについては「仕様」(45 ページ)をご覧ください。ファイル拡張子

・ ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

・ MP3/WMA ファイルを CD-R/RW に記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は「ISO9660(レベル 1,2)、Joliet、Romeo、Apple ISO」を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。

・ 同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG 表示について

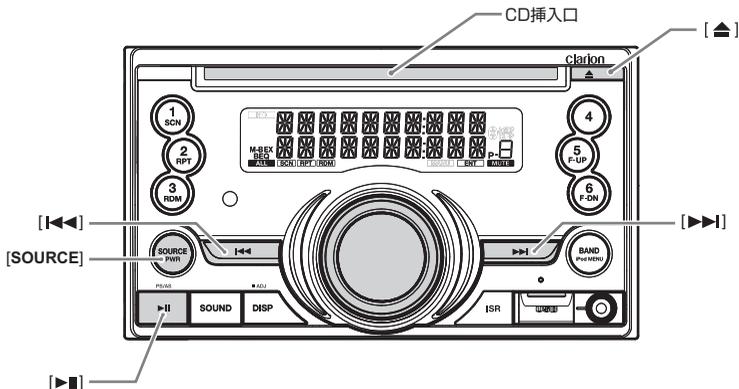
- ・ MP3/WMA 再生ではフォルダ名、ファイル名、TAG をタイトルとして表示することができます。表示できる文字コードは UTF-8、表示できる文字は半角英数字および一部の記号です。アルファベットは大文字のみの表示で小文字は大文字に変換されます。本機は漢字・ひらがな・カタカナ表示に対応しておりません。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しません。表示できない文字のときは、「*」(アスタリスク)に置き換えます。
- ・ TAG のない MP3/WMA ファイルは「NO TITLE」が表示されます。
- ・ MP3 の場合は、ID3-TAG V2.4/2.3/2.2/1.1/1.0 に対応しています。TAG 表示は、V2.4/2.3/2.2 を優先します。
- ・ WMA の場合、アルバム TAG は、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

フォルダ数 / ファイル数

- ・ MP3/WMA (ディスク)
フォルダ数：最大 256 フォルダ
ファイル数：最大 999 ファイル
- ・ USB 機器
フォルダ数：最大 256 フォルダ (1 フォルダあたり最大 999 ファイル)
ファイル数：最大 65,535 ファイル

■ディスクの再生について

- ・ ディスクを入れると、タイトル表示部に「FILE READ」を表示して、ディスク内のすべてのフォルダをチェックしたのち、再生がはじまります。チェックをしている間は音が出ません。読み込めないフォルダなど、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。
- ・ WMA の DRM(著作権保護)が ON のままのファイルを再生した場合は、音声が出されません。
- ・ 拡張子「.MP3」「.WMA」「.mp3」「.wma」を付けた MP3/WMA データ以外のファイルは再生できません。再生時間表示部に「—：—」と点滅表示します。
- ・ 曲の再生はディスクに記録した順番に行われます(パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- ・ 記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。
- ・ 読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。



ディスクを入れる

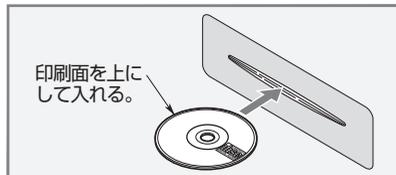
ディスクインプレイ機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればディスクを入れると、自動的に電源が入り、再生をはじめます。

⚠ 注意

- CD 挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- ディスクがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。
- CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

1 CD挿入口にディスクを入れる



→ディスクを入れると、自動的に再生がはじまります。

ディスクを取り出す

バックアップイジェクト機能について…

本機の電源が入っていない状態からでも[▲]ボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [▲]ボタンを押す

→ディスクがイジェクトされたら、取り出します。

すでに入っているディスクを聴く**1** [SOURCE] ボタンを押して、CD/MP3 モードを選ぶ

→CD/MP3 モードになると、自動的に再生がはじまります。

ディスクが入っていないときは、タイトル表示部に「NO DISC」と表示します。

ラジオ→CD/MP3/WMA→USB/iPod→AUX

再生を止める（一時停止）**1** [▶||] プレイ / ポーズボタンを押す

→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■ 続けて再生を聴きたいときには…

もう一度、[▶||] プレイ / ポーズボタンを押してください。

曲を選ぶ**1** 次の曲を聴くときは、[▶▶] サーチボタンを押す

前の曲を聴くときは、[◀◀] サーチボタンを 2 回押す

→[▶▶] ボタンを押すと、次の曲が再生されます。また押した回数だけ先の曲が再生されます。

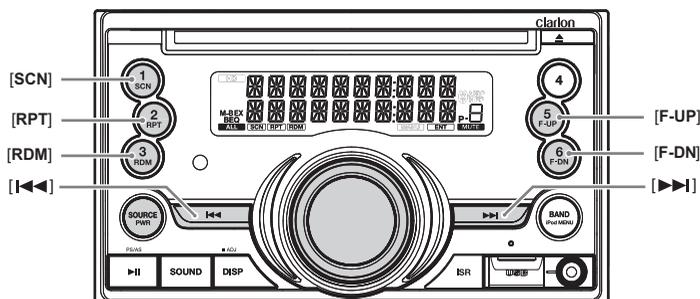
[◀◀] ボタンを押すと、再生中の曲を最初から再生します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が再生されます。

• 曲の頭部分を再生しているときに [◀◀] ボタンを 2 回押すと、2 曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り / 早戻しする**1** 早送りするときは、[▶▶] サーチボタンを押し続ける

早戻しするときは、[◀◀] サーチボタンを押し続ける

• MP3/WMA ディスクの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、再生時間表示に誤差が生じる場合があります。



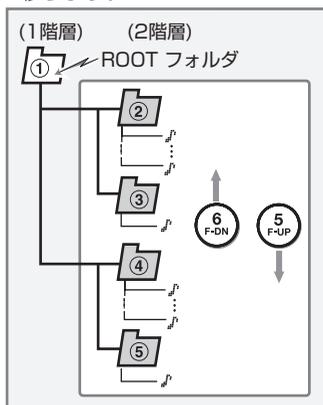
フォルダを切り換える (フォルダ選択モード)

フォルダ選択モードについて…

MP3/WMA ディスク再生時にフォルダを選択して、そのフォルダ内の最初の曲から再生します。

1 [F-UP],[F-DN] ボタンを押す

→ [F-DN] を押したときは前のフォルダに、[F-UP] を押したときは次のフォルダに移ります。



■ 曲を選ぶには…

[<<<]、[>>>] サーチボタンを押してください。

いろいろな再生 (スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 聴きたい曲を探す (スキャン演奏)

音楽 CD または MP3/WMA ディスク 1 フォルダ内に収録されている全曲を 10 秒間ずつ再生します。

1 [SCN] ボタンを押す

→ タイトル表示部に「SCN」を 2 秒間表示して、スキャン演奏をします。

- ・スキャン演奏は、再生している曲の次の曲からはじまります。

■聴きたいフォルダを探す (オールスキャン演奏)

MP3/WMA ディスク全フォルダ内の最初の曲を約 10 秒間ずつ再生します。

1 [SCN] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→タイトル表示部に「**ALL SCN**」を 2 秒間表示して、オールスキャン演奏をします。

■曲を繰り返し聴く (リピート演奏)

再生中の 1 曲を繰り返し再生します。

1 [RPT] ボタンを押す

→タイトル表示部に「**RPT**」を 2 秒間表示して、リピート演奏をします。

■フォルダ内の曲を繰り返し聴く (オールリピート演奏)

再生中の MP3/WMA フォルダ内の曲を繰り返し再生します。

1 [RPT] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→タイトル表示部に「**ALL RPT**」を 2 秒間表示して、オールリピート演奏をします。

■曲をランダムに聴く (ランダム演奏)

音楽 CD または MP3/WMA ディスク 1 フォルダ内に収録されている曲を順不同に再生します。

1 [RDM] ボタンを押す

→タイトル表示部に「**RDM**」を 2 秒間表示して、ランダム演奏をします。

■全フォルダの曲をランダムに聴く (オールランダム演奏)

MP3/WMA ディスク全フォルダ内の曲を順不同に再生します。

1 [RDM] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

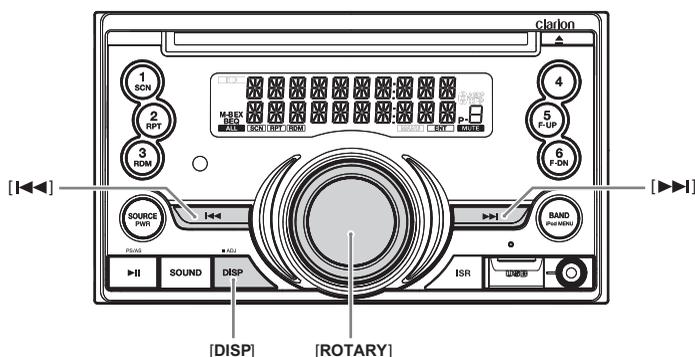
→タイトル表示部に「**ALL RDM**」を 2 秒間表示して、オールランダム演奏をします。

■通常の演奏に戻すには…

1 もう一度、同じボタンを押してください。

→タイトル表示部に演奏オフ状態を 2 秒間表示して、演奏している曲から通常の演奏になります。

設定を変更する (アジャストモード)



設定項目の選びかた

1 [DISP] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)

→ タイトル表示部に「**CLOCK**」を表示して、アジャストモードになります。

2 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→ 押すたびに、右図のように切り換わります。

- ・ ディスプレー部の「**ENT**」が点滅のときは、[ROTARY] ノブを押して調整内容を表示します。

■ 設定を終えたら…

[DISP] ボタンを押してください。



時刻を合わせる (CLOCK)

時計表示について…

本機は、車のエンジン作動時 (ACC ON 時) に時計を表示します。

時計は 12 時間表示です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「CLOCK」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを押す

→調整時点「PM 2:20」などの時刻を表示し、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

3 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、時または分を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

4 [ROTARY] ノブを回して、時刻を合わせる

5 [ROTARY] ノブを押す

→タイトル表示部に「MEMORY」を表示し、時刻が設定されます。

ご注意

- 電源が切れた状態での時間表示のときは、時計を設定することはできません。
- 点検や修理などでバッテリーを外したときには、もう一度、時刻合わせをしてください。

ディスプレイのコントラストを調整する (CONTRAST)

ディスプレイのコントラスト (色合い) を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

※初期設定は、「10」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「CONTRAST」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して設定する

- 調整範囲は、1 ~ 16 です。

パネル照明色を設定する (COLOR)

お好みに合わせて、フロントパネル全体の照明色を変更することができます。

イルミネーションは、12色のプリセットカラー、および728色のカラー調整が可能です。お好みに合わせて表示色を選択してください。

※初期設定は、「CLR SCAN」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「COLOR」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して設定する

→押すたびに、次のように切り換わります。



設定を変更する (アジャストモード)

■ユーザーカラーを設定する

お好みに合わせて、フロントパネル全体の照明色を調整することができます。ユーザーカラーメモリーは3つまで登録できます。

1 [ROTARY] ノブを回して、ユーザーカラー (USER1/2/3) を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを押す

3 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、調整項目 (RED、GREEN、BLUE) を選ぶ

4 [ROTARY] ノブを回して、調整する

- 調整範囲は、0～8です。すべての調整値を0にすることはできません。

5 [ROTARY] ノブを押し続ける (約2秒間)

→タイトル表示部に「MEMORY」を表示し、ユーザーカラーをメモリーします。

■プリセットカラー (初期設定値)

カラー	R	G	B
COLOR 01	0	0	8
COLOR 02	0	4	8
COLOR 03	8	8	7
COLOR 04	0	8	2
COLOR 05	0	8	0
COLOR 06	3	8	0
COLOR 07	8	3	0
COLOR 08	8	0	0
COLOR 09	8	0	3
COLOR 10	8	2	3
COLOR 11	3	0	8
COLOR 12	6	0	8
USER1 (ユーザーカラー1)	8	8	8
USER2 (ユーザーカラー2)	8	8	8
USER3 (ユーザーカラー3)	8	8	8

スクリーンセーバーを設定する (SCRN SVR)

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「SCRN SVR」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、設定する

- ON : スクリーンセーバー機能がONになります。再生表示などの状態で約30秒間何も操作しないと、スクリーンセーバー表示となります。
- OFF : スクリーンセーバー機能がOFFになります。

タイトルスクロールを設定する (SCROLL)

MP3/WMAのファイルに記録されたタイトル表示をスクロールすることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「SCROLL」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、設定する

- ON : 自動でスクロールをはじめ、スクロールを繰り返します。
- OFF : タイトル表示が切り換わると、1回のみスクロールします。

ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。

※初期設定は、「ON」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「DIMMER」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

盗難防止インジケータを設定する (BLINKLED)

車のエンジンスイッチがOFFのときにリセットボタンを赤く点滅させ、視覚的効果による盗難抑止効果を発揮します。

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「BLINKLED」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、設定する

- ON : リセットボタンが点滅します。
- OFF : リセットボタンが点滅しません。

リア / サブウーファーを設定する (REAR/S-W)

※初期設定は、「REAR」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「REAR/S-W」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、「REAR」「S-WOOFER」を選ぶ

携帯電話音声の割り込みを設定する (INT-SW)

携帯電話を別販の接続ユニットを介して接続すると、本機のスピーカーから携帯電話音声を聞くことができます。

※初期設定は、「OFF」です。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「INT-SW」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを回して、設定する

- OFF : 割り込みしません。
- ON : 携帯電話音声は接続されたフロントスピーカーから再生されます。また、音量は [ROTARY] ノブで調整することができます。
- MUTE : 本機から再生音は出ません。

ご注意

- AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370) を接続するときは、この機能を「ON」に設定してください。

メモリーをリセットする (RESET)

設定した音量、サウンド、アジャストモードや、プリセットメモリーした放送局などをリセットすることができます。

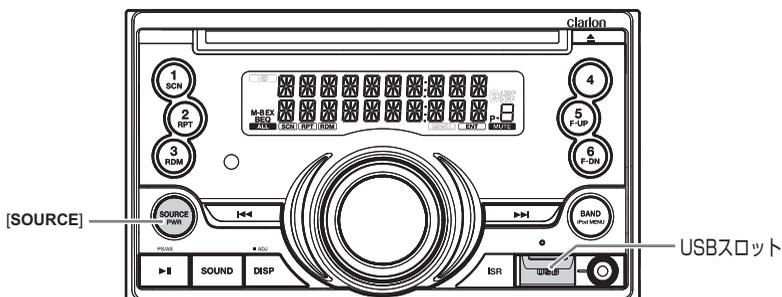
電源を再投入したときやリセットボタンを押した場合でも、プリセットメモリーなどの設定項目は消去されずに残ります。

1 『設定項目の選びかた』の手順で「RESET」を選ぶ

2 [ROTARY] ノブを押し続ける (約 1 秒間)

→ディスプレイ部に「RESET」を表示して、電源が切れて、設定したメモリーがリセットされます。

USB 機器のオーディオファイルを聴く



< USB 機器の操作について >

この章は、USB 機器を本機に接続したときの操作について説明しています。

次の操作は CD/MP3/WMA と同様の操作です。

- ・ 曲を選ぶ
- ・ 早送り / 早戻し (DRM ファイルを除く)
- ・ 一時停止
- ・ フォルダ選択
- ・ スキャン / リピート / ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」(27 ~ 29 ページ) をご覧ください。

USB 機器について

- ・ 本機で再生できるオーディオファイルは、MP3/WMA ファイルです。詳しくは「MP3/WMA について」(25 ページ) をご覧ください。
- ・ 本機の USB スロットに接続をして再生できる USB 機器は、「USB マスストレージクラス」として認識されることが条件となりますが、すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
 - ※「USB マスストレージクラス」に準拠したデバイスは、特殊なドライバーやアプリケーションソフトを使用することなく接続するだけで使用できます。
- ・ 使用する USB 機器が「USB マスストレージクラス」に準拠しているかは、USB 機器の販売メーカーにお問い合わせください。
- ・ セキュリティー機能の付いた USB 機器は再生できません。

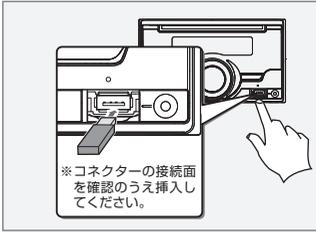
- ・ 記録されているデータを消失してしまったときのために、貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップをとっておくことをお勧めします。
- ・ 本機はパソコンとの接続には対応していません。また、USB ハブを介して接続することもできません。
- ・ 2 つ以上のドライブで構成されている USB 機器は、どちらか一方のドライブのみを認識します。
- ・ 接続する USB 機器によっては曲順などが変わってしまう場合があります (パソコン上で表示される順番通りに再生されるとは限りません)。
- ・ USB 機器で複数のパーティションがある場合、最後に作成したパーティションのみ認識し、他のパーティションは認識できません。

USB 機器を接続する

⚠ 警告

- USB コネクター部に異物を入れないでください。

1 USB スロットカバーを開ける



2 USB スロットに USB 機器を接続する

→挿入すると、USB 機器に保存された最初のファイルから再生をはじめます。

- USB 機器を認識しない場合は、[SOURCE] ボタンを押してソースを切り換えてください。
- USB 機器はコネクターの奥までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと、USB 機器を認識しない場合があります。
- 収録されている曲数によっては読み込みまでに時間がかかる場合があります。

ご注意

- USB 機器の抜き差しは、USB 機器にアクセスしていないときに行ってください。次のようなときに行くと、データが破損する場合があります。
 - …読み込み中に USB 機器を抜いたり、電源を OFF したとき
 - …静電気、電気ノイズの影響を受けたとき
- USB 機器を車内に放置しないでください。直射日光や高温などの影響により、USB 機器が変形したり故障する場合があります。
- USB 機器を接続したときに、運転および、本体操作の妨げになるような場合は、別販の延長 USB ケーブル (CCA-755-500) をご使用ください。

USB 機器のオーディオファイルを聴く

1 [SOURCE] ボタンを押して、ソースを切り換える

→押すたびに次のように切り換わります。USB モードになると前回停止したところからはじまります。(DRM ファイルを除く)

ラジオ → CD/MP3/WMA → USB/iPod → AUX

- USB 機器が接続されているときに USB モードを表示します。
- USB 機器を取り外し、再度接続したときは、USB 機器に記録されたファイルの最初から再生をはじめます。

再生を終了するには

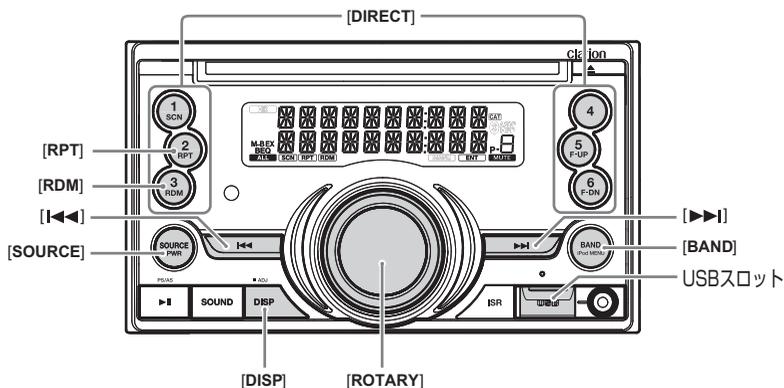
1 [SOURCE] ボタンを押して、USB モード以外のソースに切り換える

ご注意

- USB モード中に USB 機器を抜き取らないでください。USB 機器のデータが破損する場合があります。
- 貴重なデータは必ずパソコンなどにバックアップデータを保存しておいてください。

2 USB スロットから USB 機器を取り外す

iPod を操作する



< iPod について >

この章は iPod が USB スロット経由で本機に接続したときの操作について説明しています。

- iPod に関する詳細な操作方法は、iPod の「取扱説明書」を参照してください。
- 本機と接続可能な iPod に関しては、お近くのクラリオン販売店にお問い合わせいただくか、弊社 Web サイト www.clarion.com をご覧ください。

次の操作は CD と同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り / 早戻し
- 一時停止
- リピート / ランダム演奏

「CD/MP3/WMA を聴く」(27 ~ 29 ページ) をご覧ください。

iPod を接続する

1 iPod を接続する

→ iPod で再生していた“シャッフル演奏”は次のように設定されます。

- シャッフル (アルバム) → ランダム演奏
- シャッフル (ソング) → オールランダム演奏

iPod は、再生機能の“プレイモード”と選曲機能の“iPod メニューモード”の2つがあります。この機能は [BAND] ボタンで切り換えます。

ご注意

- iPod を本機と接続する場合、iPod に同梱されているケーブルをご使用ください。
- 本機で iPod ビデオ再生する場合は、別販の外製モニターと別販のケーブル (CCA-750) が必要です。

iPod を選ぶ

1 [SOURCE] ボタンを押す

→ iPod で再生していた最後のファイルから再生をはじめます。

シンプルコントロールモードを選ぶ (S-CTRL)

※初期設定は、「OFF」です。

- 1 [DISP] ボタンを押し続ける(約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、「S-CTRL」を選ぶ
- 3 [ROTARY] ノブを押す
- 4 [ROTARY] ノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ
 - ON : iPod 側で操作を行います。
 - OFF : 本機側で操作を行います。
- 5 [ROTARY] ノブを押し続けて、設定する(約 1 秒間)

いろいろな再生(プレイモード時)

ご注意

- この機能は iPod メニューモードのときには動きません。
- iPod で、設定したランダム機能や 1 曲リピート機能は、iPod 着脱後もその機能を保持します。

■曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

- 1 [RPT] ボタンを押す
 - タイトル表示部に「RPT」を 2 秒間表示します。

■アルバムをランダムに聴く(ランダム演奏)

この演奏は iPod の“シャッフル(アルバム)”演奏と同じです。

- 1 [RDM] ボタンを押す
 - タイトル表示部に「RDM」を 2 秒間表示します。

■曲をランダムに聴く(オールランダム演奏)

この演奏は iPod の“シャッフル(ソング)”演奏と同じです。

- 1 [RDM] ボタンを押し続ける(約 1 秒間)
 - タイトル表示部に「ALL RDM」を 2 秒間表示します。

■通常の演奏に戻すには…

- 1 もう一度、同じボタンを押してください。
 - タイトル表示部に演奏オフ状態を 2 秒間表示して、演奏している曲から通常の演奏になります。

ご注意

- 選択されたカテゴリー内で全曲再生後、リピートモードをキャンセルした場合は、その選択されたカテゴリー内の最初の曲から再生をはじめます。
- ランダム演奏、またはオールランダム演奏時にイグニッションスイッチを切り、すぐに入れ直した場合、今まで再生していた曲以外の曲から再生がはじまります。

iPod メニューからカテゴリーを選ぶ

1 [BAND] ボタンを押し続ける(約1秒間)

ご注意

- iPod メニューモードのときは、リピートおよびランダム操作はできません。
- iPod メニューモードのときは、[◀◀]、[▶▶] ボタンを早押ししたり、[ROTARY] ノブを早回しすると、再生されないことがあります。

2 [ROTARY] ノブを回して、「MUSIC」または「VIDEO」を選ぶ

3 [ROTARY] ノブを押す

→ iPod メニューのカテゴリーが表示されます。

4 [ROTARY] ノブを回して、カテゴリー表示を切り換える

→ iPod メニューのカテゴリーは、次のように切り換わります。

• MUSIC モード時に

PLAYLISTS ↔ ARTISTS ↔
ALBUMS ↔ SONGS ↔
GENRES ↔ COMPOSERS ↔
PLAYLISTS...

• VIDEO モード時に

MOVIES ↔ MUSIC VIDEOS ↔
TV SHOWS ↔ VIDEO PODCASTS
↔ RENTALS ↔ MOVIES...

ご注意

- [BAND] ボタンを押すと、iPod メニューモードはキャンセルされます。

5 [ROTARY] ノブを押して、カテゴリーを選ぶ

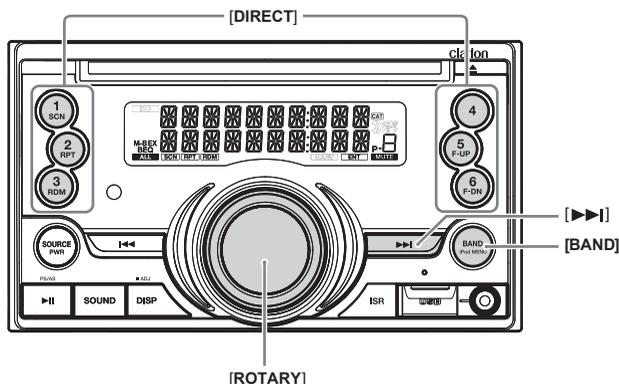
6 曲名表示のときに、[ROTARY] ノブを押して曲を選ぶ

→ カテゴリーの最初の曲から再生をはじめ、iPod メニューモードを解除します。

- カテゴリーによってはサブフォルダが表示される場合があります。そのときは、[ROTARY] ノブを回してサブフォルダを切り換え、[ROTARY] ノブを押して曲を選択してください。
- 曲名表示のときに [◀◀] サーチボタンを押すと、現在再生中のフォルダ名表示に戻ります。

7 [ROTARY] ノブを回して、カテゴリー内の曲を選ぶ

8 [ROTARY] ノブを押して、選んだ曲を再生します



アルファベット検索する (ABC サーチ機能)

1 [BAND] ボタンを押して、サブフォルダにする

※ iPod メニューのカテゴリー表示中（手順 3）は、検索できません。

- ・カテゴリーによってはサブフォルダが表示される場合があります。そのときは、[ROTARY] ノブを回してサブフォルダを切り換え、[ROTARY] ノブを押して次のサブフォルダになります。

2 [ROTARY] ノブを押し続ける（約 1 秒間）

→ アルファベット検索画面が表示されます。

3 [ROTARY] ノブを回し、アルファベットを選んで、[ROTARY] ノブを押す

→ 検索がはじまります。検索中は「SERACHING」が表示されます。

※ ファイルが見つからない場合は、「NOT FOUND」と表示して、元のリストに戻ります。

※ 検索後に [ROTARY] ノブを押すと次のリスト再検索します。

4 目的の曲リストが見つかったら [ROTARY] ノブを押す

→ 再生が始まります。

※ [▶▶] サーチボタンを押すと、次のリストを検索します。

プリセットメモリーでカテゴリーを選ぶ

1 [BAND] ボタンを押し続けて (約 1 秒間)、iPod メニューモードにする

→カテゴリーは [DIRECT] (1 ~ 6) ボタンに次のように設定されます。

[1] : PLAYLISTS

[2] : ARTISTS

[3] : ALBUMS

[4] : SONGS

[5] : GENRES

[6] : COMPOSERS

2 希望する [DIRECT] (1 ~ 6) ボタンを押して、カテゴリーを選ぶ

- ・カテゴリーによってはサブフォルダーが表示される場合があります。そのときは、[ROTARY] ノブを回してサブフォルダーを切り換え、[ROTARY] ノブを押して選択してください。

3 曲名表示のときに、[ROTARY] ノブを押す

→カテゴリーの最初の曲から再生をはじめ、iPod メニューモードを解除します。カテゴリー内の曲を選ぶときは、[ROTARY] ノブを回してください。

iPod メニューリストに戻る

iPod プレイモード時

- ・ [BAND] ボタンを押すと、元のメニューリストに戻ります。
- ・ [BAND] ボタンを押し続ける (約 1 秒間) と、トップメニューになります。

タイトル表示について

本機は iPod から送られてくるタイトル情報の表示が可能です。

- ・ 文字コードは UTF-8、表示できる文字は半角英数字・および一部の記号です。
- ・ アルファベットは大文字のみの表示で小文字は大文字に変換されます。
- ・ 本機は漢字・ひらがな・カタカナ表示に対応していません。
- ・ 表示できない文字のときは、“*” (アスタリスク) で置き換えます。

ポータブルオーディオ / 携帯電話音声を聴く (AUX)

AUX を選ぶ

本機に市販のポータブルオーディオなどを接続して、音楽ソースを聴くことができます。また、AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370) を接続すると携帯電話の通話音声も聴くことができます。

1 [SOURCE] ボタンを押して AUX モードを選ぶ

→接続されたポータブルオーディオのプレイ操作で、再生されます。

ラジオ → CD/MP3/WMA → USB/iPod → AUX

■ 音が割れる / 音が小さいときには…

本機の入力レベルを調整してください。設定方法は、次項の「ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)」をご覧ください。

■ AUX Bluetooth トランシーバー (BLT370) を接続したときは…

この機能を使用するときは、「設定を変更する (アジャストモード)」(33 ページ) を参照して「携帯電話音声の割り込みを設定する (INT-SW)」を「ON」にします。

※初期設定は、「OFF」です。

AUX 入力接続のしかた

市販のステレオミニプラグコードを使用して、ポータブルオーディオを本機正面パネルの[AUX 入力端子]へ接続してください。

ご注意

- プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、ポータブルオーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。



ポータブルオーディオの入力レベルを設定する (AUX SENS)

本機に接続された市販のポータブルオーディオの入力レベルを設定します。

※初期設定は、「MID」です。

- 1 [DISP] ボタンを押し続ける (約 1 秒間)
- 2 [◀◀], [▶▶] サーチボタンを押して、「AUX SENS」を選ぶ
- 3 [ROTARY] ノブを回して設定する

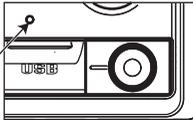
- LOW : 入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき。
- MID : 通常レベルのとき
- HIGH : 入力レベルが低いとき

ご注意

- この機能は、AUX モードを選択しているときに設定できます。

故障かな？と思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現象	原因	処置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
共通	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。  ディスクが入っている状態でリセットボタンを押した場合は、再生する前に一度ディスクを取り出して再挿入してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	音量をもう少し絞ってお聴きください。 電源を再投入することで、音声出力は復帰します。スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

	現象	原因	処置	
CD MP3 WMA	音が出ない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。	
		ディスクにMP3/WMAファイルがない	ディスクにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。	
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。	
		ファイル形式または、ファイル名が正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeo、Apple ISOでファイルを作成してください。	
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクをやわらかい布でふいてください。	
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。	
		録音時のサンプリング周波数が低い	サンプリング周波数の設定を上げて録音し直してください。	
電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。		
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、Joliet、Romeo、Apple ISOでファイルを作成してください。	
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次の「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。	
USB iPod	音が出ない	デバイスにMP3/WMA/ファイルがない	デバイスにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。	
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。	
	音飛びする ノイズなどが入る	MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。	
		USB機器が認識されない	USB機器が破損している	USBコネクタを抜き差ししてください。それでも認識しない場合には、新しいUSB機器と交換してください。
			USBコネクタの接続が悪い	
	動作状況により、本機とUSB機器やiPod、携帯オーディオが認識されない場合がございます。			
USB機器が挿入できない	USBコネクタの挿入方向が間違っている	USBコネクタの向きを変えて挿入してください。		
	USB機器のコネクタが破損している	新しいUSB機器と交換してください。		

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD MP3 WMA	ERROR2	本機にディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	本機のメカニズムの故障とされます。 お買い求めの販売店、または最寄りの弊社 修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、再生できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、再生できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
ブランクディスク(無録音)を入れたとき		録音されているディスクと交換してください。	
USB / iPod	ERROR7 (iPodモード)	iPod機器が認識されない	iPod機器を取り外して、もう一度接続してください。
	ERROR7	過電流検出	機器を取り外して、もう一度接続してください。機器がまだ認識されていないのであれば、別の機器で試してみてください。
	ERROR7	本機にHUB機器を接続したとき	本機は、HUB機器のご使用はできません。

上記以外のエラーが表示されたときは、42 ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕様

■CD プレーヤー部

周波数特性 : 20Hz ~ 20kHz ± 1dB
SN 比 : 85dB
ダイナミックレンジ : 80dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.03%

■FM チューナー部

受信周波数 : 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度 : 11dBf
50dB クワイティング感度 : 17dBf
SN 比 : 60dB
周波数特性 : 30Hz ~ 15kHz ± 3dB
分離度 : 30dB (1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3% (1kHz)

■AM チューナー部

受信周波数 : 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度 : 28dB μ V
SN 比 : 50dB

■MP3/WMA 部

セクタ構造 :
CD-ROM モード 1、モード 2- フォーム 1
(自動判別)

論理フォーマット :
ISO9660 レベル 1,2/Joliet/Romeo/
Apple ISO

フォルダ数 : 最大 256 フォルダ
ファイル数 : 最大 999 ファイル
ファイル名 : 64byte
(1byte 文字で 64 文字)
フォルダ名 : 最大 64byte
(1byte 文字で 64 文字)

(MP3)
MP3 デコード :
MPEG-1、オーディオレイヤー 3 準拠
サンプリングレート (kHz) :
MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 11.025, 12
ビットレート (kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32 ~ 320
MPEG-2 : 8 ~ 160
MPEG-2.5 : 8 ~ 160

(WMA)
サンプリングレート (kHz) : 8 ~ 48
ビットレート (kbps/VBR) : 5 ~ 384

■USB 部

最大転送レート 12Mbps で USB1.1/2.0 互換
フォルダ構造 : 8 階層
フォルダ数 : 最大 256 フォルダ (1 フォルダ
あたり最大 999 ファイル)

ファイル数 : 最大 65,535 ファイル
ファイル名 : 64byte
(1byte 文字で 64 文字)
フォルダ名 : 最大 64byte
(1byte 文字で 64 文字)

(MP3)
MP3 デコード :
MPEG-1、2、2.5 オーディオレイヤー 3 準
拠
サンプリングレート (kHz) :

MPEG-1 : 32, 44.1, 48
MPEG-2 : 16, 22.05, 24
MPEG-2.5 : 8, 11.025, 12
ビットレート (kbps/VBR) :
MPEG-1 : 32 ~ 320
MPEG-2 : 8 ~ 160
MPEG-2.5 : 8 ~ 160

(WMA)
サンプリングレート (kHz) : 8 ~ 48
ビットレート (kbps/VBR) : 5 ~ 384

■AUX 部

入力感度
LOW : 2.06V (2V 出力時)
MID : 1.3V (2V 出力時)
HIGH : 650mV (2V 出力時)

■オーディオ部

定格出力 : 21W × 4 (20Hz ~ 20kHz, 1%, 4 Ω)
最大出力 : 50W × 4
適合インピーダンス : 4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω)
3 バンド EQ
BASS : ± 14dB (50/100/200Hz)
MID : ± 14dB (500/1K/2KHz)
TREBLE : ± 14dB (5/10/15kHz)
マグナベース EX : + 10dB (80Hz)
ラインアウト出力レベル : 2V (CD 1kHz)

■BEAT EQ

BEAT EQ (5 モード) :
CUSTOM/EXCITE/IMPACT/B-BOOST/ OFF

仕 様

■共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A (1W時)
ヒューズ定格	: 15A
外形寸法	: 178 (W) × 100 (H) × 156.5 (D) mm [取付寸法: 155(D)mm]
質量	: 1.48kg

■付属品

・取扱説明書 1部
・取付説明書 1部
・保証書 1部
・電源コード 1本
・セムス六角ボルト 8本
・サラネジ (M5 × 8) 8本

※これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■ 保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■ 保証期間

お買い求めの日より 1 年間です。

■ 万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。ただし、脱着にともなう工賃は、お客様のご負担となります。

お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後 6 年保有しています。

■ ご質問・ご相談について

本機に関するご質問・ご相談は、最寄りの弊社修理相談窓口または弊社お客様相談室にお問い合わせください。

クラリオン株式会社

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル 0120-112-140

(土・日・祝・祭日を除く 9:30~12:00、13:00~17:00)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、
あとでお問い合わせされるときに便利です。

280-9005-00

PA-3431A

Printed in China 2011/4